

長野便教会 会報

ひとつ拾えば ひとつだけきれいになる

平成28年1月16日(土) 第84号

開催回数 10回は県内最多の竜東中の皆さん



1 こちらこそありがとうございます!

9回目を迎える飯田市立竜東中学校の掃除に学ぶ会が、11月3日・文化の日に行われました。この会は折しも、長野便教会として通算100回目の会でした。イチロー選手ではありませんが、99回も100回も101回も1回の積み重ねに違いはなく、どの1回も重さは同じはずです。だから、私たちはただの通過点のひとつとしてとらえていただけて、特別なことは何も用意していませんでした。ところがなんと、竜東中の皆さんが上の写真のような横断幕を用意してくださっていたのです。驚くやら、感激するやら…。でも、100回のうち9回、つまり約1割は竜東中の皆さんが呼んでくださったのですよ。その後、竜東中では11月3日の会に参加できなかった3年生を中心に、12月19日にも10回目の会を開催していただきまして、感謝しなければいけないのは私たちの方です。本当にありがとうございます。

今まで竜東中で熱心にお掃除に取り組んできた原勇二先生が、3月に根羽村立根羽中学校へ異動されたため、そのあとを引き継いでくださった穂苅みずき先生にご寄稿いただきました。

磨けば変わる。磨けば分かる。

竜東中学校講師・穂苅みずき

去年の今頃、当時の整美委員長が「先生、この会絶対いいから出てね!」と言ってきました。今回掃除に学ぶ会に参加した今、彼女がああして力説していた気持ちが分かりました。

今回初めて参加した「竜東中学校掃除に学ぶ会」。今年清掃顧問という立場になり、「自分が体験しなければ全校のみんなに掃除のことは語れない!やるからにはしっかりやろう」と覚悟を持って参加しました。始め便器の中を指でこすってみると、なかなかのぬるっと具合…。それまで多少抵抗がありました。でも一度触ってからは何か緊張が解けたようなそんな気持ちが出て、その後ひたすらに便器をこすりました。やればやるほど「もっときれいにできそう」という気持ちになり、ただ無心に便器に向かう自分がいました。不思議ですね。前日までは素手で便器に手を入れることなんてしたことなかった人が、一度勇気を出して手を入れてみるとその後ためらいなくもっと奥まで手をぐいぐい入れられるようになっていました。それは私だけでなく、まわりの中学生もみんな同じように便器に向かっていて、しかも磨くことに楽しみを感じ出したように夢中になって取り組んでいるこの光景ってすごいなと思いました。

「目は臆病です。でも、手には勇気があります。」いい言葉だなと思いました。日々の中でできないを決めつけてしまっているのは私たちの思考であって、できるかどうかで迷って、やらないままでは、結局何もできない。やってみてもいけないのに、できないかも…と決めつけて最初から可能性の芽を摘んでしまってはもったいない。特に初めてのことに對しては臆病になりがちです。でも、まずはやってみることが大切で、やってみたらほらね、できたでしょ?」と言えることが私たちの身の周りにはまだまだありそうだなと思えるような、そんな体験をさせていただきました。

やる前は頑固そうで触りたくなかったような汚れも、ここまできれいにすることができました。変わったのはトイレのきれいさだけではなく、自分の気持ちも何かが変わり、今回の会のテーマ「磨けば変わる。磨けば分かる。」まさにそうだと実感することができました。貴重な体験をさせていただきました。今回この会が開催できたのは多くの皆様のご協力のおかげです。次回もまた参加させていただきたいと思えます。遠方からお越しいただいた長野便教会の皆様、セイコーエプソン労組の皆様にご感謝です。本当にありがとうございました。

2 新成人の門出を祝うお掃除の会

「おはようございま〜す」「あけましておめでとうございます」1月9日(土)朝6時。まだ暗い中、「小布施掃除に学ぶ会」の1月の月例会に参加する人たちが続々と集まってきた。場所は、小布施町の町民会館「北斎ホール」。翌10日(日)に、小布施町の成人式の会場となる場所だ。

「小布施掃除に学ぶ会」では、月例会は基本的に毎月第2日曜日に栗ガ丘小学校と決まっている。しかし毎年1月の月例会は、新成人の皆さんの門出をお祝いする意味も込めて、成人式の会場となる「北斎ホール」を、成人式の前日にお掃除させていただいている。これは「小布施掃除に学ぶ会」10年の歴史の中で、かなり早い段階から定着していたように記憶している。

その月例会にうれしい異変が起きたのは、昨年のこと。「小布施掃除に学ぶ会」代表の木下豊さんが、成人式の実行委員会のメンバーに式前日の月例会への参加を打診したところ、新成人の皆さんは「ああ、あの掃除ですね。わかりました」と即答で参加を了承してくれたのだそうだ。新成人の皆さんがすぐに「あの掃除ですね」と反応できるのは、「小布施掃除に学ぶ会」では毎年3月の卒業式直前の日曜日に、小布施中学校を会場にして「小布施掃除に学ぶ感謝の会」を開催してきたからである。それに、彼らの中学時代には、長野便教会の発足メンバーである中村文成先生と武田光枝先生の重鎮2人がそろって小布施中に勤務していたわけだから、彼らにとっては中学時代に毎日やっていた”懐かしい”お掃除なのである。

そんなわけで、今年も実行委員会の皆さんを中心に、10名もの新成人の皆さんが月例会に参加してくれた。いざお掃除が始まると、「どうするんだっけ?」と言いながらも、体はしっかりと覚えているようだ。もう働いている若者は、きっと職場でも鍛えられているのだろう。あれこれ細かな指示を出さなくても、自ら汚れに気づいて黙々とお掃除をしていく姿が実に頼もしかった。成人の日の報道を見ると、自分に与えられた時間とお金と労力を、「自分を光らせるために使う若者」がいる。その一方で、こうして「人を光らせるために使う若者」もいる。この違いは大きい。「小布施町の将来は、きっと明るい」今年もそう確信したのであった。

新成人の皆さんと今年も一緒に掃除できました 小布施掃除に学ぶ会・牛山 大輔

本日の「北斎ホール」のお掃除には、明日の成人式を控えた新成人の皆さんが10人もご参加下さいました。昨日の連絡では参加予定者は7人だったのが、開始前には2人増えて9人。さらに後から駆けつけて下さった方が1人です。信じられません。朝早くからトイレ掃除をするのに、「寒い」とか「眠い」とかいろんな理由をつけてドタキャンしてもおかしくないところを、逆に「ドタ参する」という現実を目を疑いました。

そして、お掃除終了後の反省会の最後に、新成人の皆さんが中学生だったころに小布施中に勤務されていた中村文成先生が「今年の新成人の皆さんは、いつも3月に実施している「小布施中学校掃除に学ぶ感謝の会」が、東日本大震災で中止になった年の3年生の生徒さんだった」ことを教えてくれました。あれからもう5年が経つのですね。そして、新成人の皆さんの中には、5年前に木島平中学校で行われた「第3回清掃サミット」に参加した方もいました。おかげさまで、感慨深いご縁を感じてお掃除を終えました。

木下さんと林さんには事前にきめ細かな段取りをしていただいたおかげで、成人式主催の公民館長さんが、朝早くから気持ちよく私たちを出迎えて下さいました。初めは「見ているだけのつもりだった」という公民館長さんでしたが、次第にお掃除の魅力に引き込まれて、一緒にお掃除をして下さいました♪ そんな皆さんの清々しい笑顔の写真を見て下さい。



3 お知らせ

- 第2回東部中学校掃除に学ぶ会→平成28年1月23日(土)伊那市立東部中学校
- 第4回長丘小学校掃除に学ぶ会→平成28年2月7日(日)中野市立長丘小学校
- 第1回豊丘中学校掃除に学ぶ会→平成28年2月13日(土)豊丘村立豊丘中学校
- 第10回小布施掃除に学ぶ感謝の会→平成28年3月12・13日(土・日)小布施町立小布施中学校

有り難いことに、上記のように3学期の予定はビッシリです。本年もよろしく願います。

〒383-0021 中野市西2-9-2 長野便教会事務局・太田 智明(木島平中学校教諭)
携帯電話・090-2238-2934 Eメール・otato2005@yahoo.co.jp
小布施掃除に学ぶ会HP・<http://obuse-souji.com/>